京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
發行所　京城新報社　京城西署西小門通（電話六六三）

東京たより（三日發）

●聖旨の罪民に對し、施藥救療の御思召を以て下賜あらせられし百五十萬圓の處理方法に就ては、政府及び各政治家の研究を惹らさる問題に有之候、吾人は之に就て、華族富豪乃至世の義俠家より捐金を醵集し、之れを御下賜金に加へて、聖旨の在る所を貫徹大成し事をこそ最も至當ぞ存候。

●而して、處理方法は愼重に愼重を加へて、眞に一の疎漏なからしむべく、講じ來れば幾多の案をも見出すべく候へども、第一義に於て、御下賜金を基礎とせる救濟事業を大成せしむるの責は必らず之れを華族富豪等の捐金に取ることが最も當を得たるは勿論申す迄に候

●由來、我國の華族富豪は、自ら奉ずる事の豐厚ならんことをのみ是れ務め其積んで餘れる所の資財を以て、公共の利器に供せんとする、所謂公共心なるものが頗る稀薄なる樣に見受けられ候、中には公共の爲めに捐金の義擧を試み候者も有之候得共、其れとても有する所の財產の幾萬千分の一といへるが如き小額に過ぎず、而かも此義擧が他より强請せられて餘儀なくされたるもの多きを占むるに引換へて中流以下の社會に在ては往々其私財を拋て國家の爲めに盡くし、常に他に先んじて自ら公益の創始者たるもの少からず候。

●百圓の資產家にして十圓の義捐をなす者あれども、千萬圓五百萬圓の資產家にして、十萬圓五万圓を纏めて捐金する者は極めて稀に有之候、伯樂一たび冀北の野を過ぎて馬群遂に空しとするの筆法を以てすれば事ここに至る、其反對に於て、我國の富豪は社會公共の利益の爲め、資財を拋つものにあらずと斷言しても敢て不都合無之乎かと愚考罷在候、實に國家の爲め不幸之に不過候 吾人は切に富豪華族諸氏の反省を促さゞるを得ず、是に就て次回に辯論相試度候不盡（數子）

●今後の防疫方針

▲病毒地より內地經由の船舶　前項の外に於て旅順、大連、營州灣を發して內地を經由し釜山又は仁川其他の諸港に上陸せんとするものは一々之れが健康診斷を行ひ傳染の疑なきを認めし時直ちに上陸せしめ若し健康に疑あるものは七日間之れを隔離することあり

▲帆船戎克の貨物　小形帆船戎克の停船中は其乘組員の健康狀態を觀察し病毒汚染の疑なき時に限りて貨物の陸揚を許すことゝせるが其乘組船員は清國人勞働者及び行商人と同一の取締を爲すことゝせり

▲輸入禁止は寛大　從來一切病毒地よりする輸入物は嚴禁し居たるが今後は從來より之れを寛大にし總督府令第四號に警務總監部令第四條の明文に擧げたるもののみ之れを取締り幾分の除外をなすべし

▲輸入貨物の消毒　輸入貨物は一切殺鼠處分を經たる後陸揚せしめ若し之れを行ふ能はざる船舶の荷物は充分驅鼠をはしめたる上之れを許すことゝしペスト患者に接觸し又は鼠族侵入の形跡ある包裝內の貨物を除き其他は總べて消毒を爲すべし

▲新義州安東縣の往復　新義州より安東縣市街に至る者は日出後日沒後に往復する場合に限り證明書を要せず防疫支部長の規定したる往復切符を與へて交通せしめ一方安東縣市街に滯在したる場合に於て安東縣警務官が其事實を證明する時に限り通行を許し若し之れ無き時は病毒地に接近したる虞れあるものとして前條項の一般規定に依ることゝなしたり（三月一日二面の續）

●草花栽培注意（一）

本年も追々草花栽培の好季となつたから此の注意を語らう▲凡そ草花を培養するに當り第一に最も注意すべきは土壤の性質と肥料の種類を知悉するが肝要である何は氣候如何と土地如何適不適とを考慮せざれば失敗を來すことある（眞土　性質緻密で肥料や水を吸ふ力は強いが旱魃にでも逢ふと龜裂を生じ易い是を使用する場合には必ず砂か赤土を適宜混和すべし（赤土　水に逢へば忽ち溶ける土である赤色を帶びて輕からず重からずと云ふ性質を有す盆栽用には砂を混じて用ゆるに必要の土である　砂土　此土は砂を多く含んだもので川邊に多くあるが使用するには粘土質の土を混じて用ゆべし併し球根の貯藏とか播芽をするには尤も必要の土である（腐植土）とは溜滯の下積土の如くなりたるもの池や溝の底に停滯せる泥土である是を使用するには汲び揚げ日光に曝して充分乾燥させ碎きて粉末に篩に掛けて用ゆるものである

●湖江流船の競爭

全羅南道木浦榮山浦間は從來木浦航運會社の獨占航路にして汽船運賃の如きも會社にて法外の高額を貪りをりしが釜山に支店を設ける松汪合同流船會社にて第二錦江丸を榮山江航路に差向け茲に兩社間に運賃値下げの大競爭を惹起し目下航運會社にては該航路三十五浬間の運賃を僅か十五錢に引下げたりといふ

文苑

◎白椿　ふさ子

ものゝけのありと傳へて人住ぬ
隣屋敷に白椿咲く

春雨の日ねもす獨りうたゝねの
夢も美し鶯の聲

朝ぼらけ殘る寒は覺ゆれど
山より山へ百鳥の聲

窓近き桃の色香を添ふるなり
障子を洩るゝ人のさゝめき

若草のもえいづる野に啼交す
きゞすの聲の寒くもある哉

◎春の歌　礫々庵

春が來れば、春の風が吹く。去年の冬の枯落葉が、雪の梅を春の光に消やされて、世を恨み顔に春の光の下に反射する。

骸骨すがたの枯葉に、春の風が吹く。吹き來る風に、ひとどどり、踊るよ、骸骨の枯葉が踊るよ塵の上。

春が來れば、若芽が萌え出る。やがて土となる枯落葉の下から、そゞと崩れです、吹く春の風に……南國の夢にぞ見つる若き人々の胸の如くに、そのゝいて、輝きながらそゝのくよ。朽ち葉の土となり行く、下から上に、

馬鹿だなあ、何が悲しと鳴き立るのか鵡よ、鳴いたとて、悲しんだとて、春が來れば……冬も來る。

◎新刊紹介

▲新公論（守錢奴號）三月一日發行の本誌は金權萬能の風潮に慨し守錢奴號として打つて出でたり卷頭に掲げたる題刺書家の見たる金持の不自由先づ奇拔なり守錢奴と亡國民族、富を作らんとするものは先づ感化院教養者の共通性に鑑みよ（澁澤男爵）拜金の思潮あるは運動伸張の證據（三宅文學博士）金を以て買ひ得る趣味は下劣なり（尾崎東京市長）來るべき新時代は斷じて拜金の時代にあらず（河岡潮風）人格の伴はざる金力は危險（武田明）拜金宗か非拜金宗か（幸村將士）皆皆今日の鼻紛々たる成金熱にかぶれたる動物に敢て一服の淸涼劑たるを失はず、其外人物評論には犬養毅と原敬論究結（一鼓生）醫界人物總まくり（三）（飛天夜叉）あり次て大東京の建設（塚越停春）舊目村長を喚ばれて模範村を作り上げた村長（長澤駄盡）日本武器の今昔（各專門三大家）御月樣と民謡（前田林外）淺草公園の一夜（二）（變裝記者）客齋百種（野口復堂）桂菴內幕話（藍染川住人）殺人犯の種類と精神狀態　市場裏面觀　其他數十篇或は學術上より又は實際上より論述描寫し其のよく時勢に投せる人情の機微を穿てる皆一讀三嘆に値す又本誌の一大特色として有益なる一百餘種の萬報一覽中に挿入せる新日本風景說べ大番附は興味湧くが如し（定價金二十錢半ヶ年分金壹圓廿錢振替二二四〇番、東京市本郷區東片町百十一番地　新公論社）

召使れ初　黒法師



（二の三）

一座の談話は夢の如き功名談より轉りて、今日の不思議の對面事情に及ぶ。權內は一息ついて、

「それはそれ、今日眞穴で圖らず出會ふて、我等懲挙を興れやうとした、彼の女人、御存じでござるか喃」と佐十郞、膝を向けぬ。

「名は存せぬが顏はよく見る、日が窪邊に住ひものぢや」

「優れて美人と申すでは無いが、色白のぷつてり女、噛んで吐く程にも思はぬ」と三五郞は笑ひながら「實を申すと、佐倉姓同心、先日以來目を掛けて居た玉でござるよ」

「それを今日、物に爲さらう御魂膽でござつたか喃」と佐十郞も消しい目許に笑を見せしが、然し中々のしたゝか者、拙者仲裁に入るで無くば貴殿等痛い目を御覽なさる處であつたぞ」

「いかな事にも」と傳內は不平らしう「瘦せてはいれど武士の端、高が女に敗を取る事はござらぬ、貴殿た越し乍少し遲くば、彼女下物にして味い酒を飲む處、思へば殘念でござつたよ」

「そりや爲らぬ、我等折好く通り掛つて、仲裁を致したも、彼女常人ならず見たからぢや、御兩所を左右に控ねて泰然たる身の構ね、素破と云はゞ引き受け、目に物見せうとの覺悟、彼の涼しい目の中に滿ちてあつた、親うは關かぬが彼の女、吉岡流柔術の奥儀を極め居るに相違ない、目の配り、腰の落し樣、右手に左手の中高指を握つて、一寸のきつと御兩所を睨み詰めた姿、恐い手出し隙も無いやうに見申した、怒い手出しなされては、兩刀の手前、見苦しい敗も見せられまじく、二ないた命に故障あらうも知れぬと存じ、何れの御家中でもあらせうとも、武士は相互と心得不躾に言葉を掛けた、不禮は鄭重にも恕させられ、ちやが我等不躾の仲裁、御兩所れ命の親であつたかも知れませぬぞ」

「言語同斷、彼女吉岡流の達人なら我等又澁心流の免許皆傳、佐倉姓は小田流の劍客、女に敗を取る事はござらぬ」と三五郞は烈火の如し。

「れ言葉は分つた、申し過ぎは御用捨あらせ、然し相手は女人、此方は風貌のれ武家れ二人、假令御勝利あらうとも、自慢の爲きた話で無い、下世話にも仲裁は時の氏神、拔かぬ大刀に最後まるな」



ら勝利あるものぢや、拙者爲らぬ中からさし上げる熱燗で、先刻の事は全然と流させられ、而て以後は三人同胞、昔桃園に義を結んだ蹟に倣ふて、萬月の奥座敷に缺ける串なき交際、同と月同じ日には生れずとも、同じ時、同じ場所同じ枕に死を期さう、御承知か」と傳內は銜心殘して。

「いかにも承知、ちやが」と

「彼女心憎い、何者の娘であらうの」

「町人の子とは思へぬ、されば迚彼の風俗、身分ある武家ではあるまい」と三五郞は考ね「正木姓、何う御覽おや」

「何者の娘であらうとも、此方には關ひない事、それよりは先頃御蕭得た瀧田公れ年寄澤野殿へれ紹介、平にれ忘れ下さるな」と佐十郞は思ひ込で云ふ

「委細心得、成る成らぬは追ての事拙者身に協ふことは、命にかけてお盡し申す」と傳內はきつと云ひ切り「さて酒も冷ねる、虚興も盡きた、近頃新吉原繁昌と噂もあるが、正木姓序に御案內下さるまいか」

「いやと」と佐十郞は頭を振て「切角なから妹に約束した事もあり、今夜はこれで御免を蒙る、平に卑怯とれ笑ひめ

▲條約說明と議會

昨二日衆議院は本會議を開會し各大臣出席先づ日野國明氏に質問許否に付き議長に偏頗なる處置ありとし議長との間に應答あり次で小村外相の別項日米新條約の報告演舌に對し國民黨首領大石正巳氏は但書を削除しながら移民の取締は從來通り嚴にすと宣明するは實質に於て新條約は何等の効なく屈辱的の締結なりと叱し小村外相之れに答へ他に二三の質問ありたり

●日米條約演說

昨日衆議院本議會に於て小村外相は日米新條約に就き左の演說をなせり

帝國政府が諸外國と締結せる通商航海條約に於て日米條約のみ獨り終了期限に就き兩政府その見解を異にし商議行惱居りしを以て我政府は一先づ期限問題を別とし新に新條約を商議せん事を求めたるに米國政府は好く同意したるにより玆に我提案と米國政府が修正とに依り新條約の締結を見るに至りしが新條約が現行條約に代りて七月十七日より實施せられんが爲には米國議會中元老院の協贊批准を經る必要あるが爲め兩國政府は一意商議の進捗を謀り親交國の態度を以て商議を盡し二月廿一日之れが調印を終り同廿四日米國政府は元老院の協贊批准を得たり而して新條約中には第二條移民に關する但書を削除して唯帝國政府は從來の方針を變更せざる旨友交的に同國に言明し關稅に付きては兩國間別個の條約又は各自國法により律する事とし別個條約の締結迄は既行條約中關稅に關する條項を以てする事とし沿岸貿易は全然各自國法に據る事と定め永代借地權の條項も削除せり本件に就きては新に根本的解決をなさんが爲更に協議する筈なるが該新條約は大體に於て日米互に最惠國待遇を保證せるものなり

▲朝鮮事業公債案 討議

朝鮮事業公債案に付きて鈴木力氏の總督政治攻擊の演說あり桂首相缺席の爲め議事延期となりたり

▲京城水道買收豫算

二日衆議院豫算委員總會は朝鮮水道買收に付き審議し荒井長官は詳細に之れが說明をなせり同買收費は四十三年度特別會計追加豫算にして總額二百九十二萬六千七百九十二圓其の財源は公債金繰入なるが結局七分科會に移して審議し次回の豫算委員總會に再議する事となれり

雜報

●朝鮮問題と議會

二日の衆議院第一讀會に於ける間島領事裁判權問題其他に關し兒玉會計局長より山縣政務總監に達したる公電如左

本日衆議院に於て間島に於ける領事官の裁判に關する法律案の第一讀會を開き石井外務次官提出の理由を說明し直ちに委員附託となれり朝鮮事業公債法外二件は板倉委員長の報告に引續き鈴木代議士より本案は現內閣の財政政策の根本を破壞するものなること徒らに總督の權限を過大ならしむべきものなること現內閣に於ける殖民地經營政策の確立せざる事等約一時間に涉る反對演說あり又日向代議士より本案に關し桂總理に質問を求めたるも總理大臣及朝鮮總督共院內に不在の爲め本案の議事を延期することゝなれり又た豫算委員會に於ては荒井長官水道買收追加豫算提出の理由を說明し分科の審査に移れり

●定例長官會議

三日午前十一時より總督府に於て定例長官會議を開き倉富木內宇佐美の各部長官池田通信局長官明石警務總長僕副總裁小松外事局長鈴木司稅局長小城技師列席政務の打合せを爲し午後一時散會

●地方內地人教育

地方行政の發展と共に內地人の地方に赴任を命ぜらるゝ者漸次增加し而かも散在的に邊陬の地に在任する爲め折角家族を率ゆるも其兒童に對する教育を施す能はざるより已むを得ず家庭を分割して單獨赴任するの有樣にあるは如何にも同情に堪へざる次第なりとす依て總督府に於ては啻に官吏に對するのみならず一般移住民の奬勵に就て殊に急務中の重要事たるを認め新豫算の教育補助費によりて地方に於ける內地人の教育機關を充實せんと努め目下計劃中なりと聞く

●市區改正稟請

民團議員高橋章之助氏の提出したる京城市區改正の建議案は過日の民會に於て滿場一致を以て可決せられたるを以て古城民長は三日道廳を經て寺內總督へ市區改正の稟請書を差出せり其の稟請事項左の如し

一　總督府に京城市區改正事務局を新設せられ度事

二　市區改正事業は先づ施設の大方針を定め道路、河川、公園、宮殿、官衙、學校、市場、劇場等の備置及幅巾等を豫定し繼續事業として緩急に應じ其區分を定め之が竣成を期せられ度事

●聯合會準備

來る四月二十五日より當地に開會の筈なる內地朝鮮の商業會議所聯合大會は豫期以上の人氣を惹き既に參加を申込み來る內地商業會議所は四十箇處の多數に達し之に在半島の內地人會議所十箇處を加ゆるを以て總計五十箇處の大集合なり斯かる大規模の大會は實に空前の事に屬するを以て如何に盛觀を極むるか今より思ひ遣らるゝ程なり而して參加會議所の代表者は孰れも知名の實業家のみなるを以て其主催者たる京城商業會議所にては充分なる準備を爲し折角其滿足を買ひ更に半島開發上大有効のものたらしむべく鋭意計劃中なりと云ふ

●分析所と度支部

從來種々の行掛上地金の買入は韓國銀行の獨占の如き有樣なりしが翻つて諸般の狀態に顧みれば手を拱ねて支那人の壟斷に委し空しく國家的大利益を暗から暗に葬り去るの實況に在り故に度支部にては何人にても此方面に分析所を設置するものあらば大に歡迎すべしと當局者は語れり

藤原財務課長談片

南北滿洲のペスト流行が半島の經濟上に如何程の影響を及ぼせるかに就ては充分注意を拂つて居るが今日までの調査に據ると幸ひにして**格別の影響も無い**らしい▲地方農民は昨秋以來稀有の好況を示し到る處皷腹擊壤の觀がある故に納稅の如きも最も圓滿に完了せられ尚は其餘裕が商業方面に溢れ延いて貿易上にも一大好兆を現じて居る▲今地方の狀況を窺ふに尚ほ澤山の持米があるようだ此持米は既に秋金を濟まし生活上の慾望を充たした餘の利益であるのだ**地方農民が**如何に**綽々餘裕**を極めて居るかは此事實以て證するに足るでないか▲元來朝鮮人は困れば相場の如何に頓着なく直に賣飛ばすが若し給して不足なければ毫も急がない頗る呑氣に構へて居る其理由は斯ふなのだ金にして貯へ置くより米其儘を貸付けて次ぎの收穫時に利足を付けて返濟を受くる方が非常に安全で且つ利益があるからである豈に面白い習慣ではないか▲漢城銀行拂込の恩賜公債は總べて無記名に書換へ**韓銀に保護預**をして**資金の融通**を計る事になつて居る▲同行の今後執るべき方針に就ては過日臨時總會の席上訓示を與へ宜しく經濟界の自然に隨ひ先つ借手あつて貸出を爲し苟くも借手を求めて貸付をなすが如き輕々しき眺みをせぬ樣嚴重に警戒を加へて置いた▲制令の命せる貸借若細別月報は遲滯なく提出されて居る此命令がある以上は取引する者も危險の虞なく同行も亦安全だ▲同行の增資は勿論必要を認めたからである三百萬圓はまいとか百萬圓位で澤山だかといふ程度論は人各く見る處に依つて異がふ然れども現今の經濟界は獨り同行のみに非ず**各銀行とも增資の必要**が大にある▲政府**貸下金は斷じて延期を許**さない特に漢城銀行に對しては……其他の銀行に關する分は已むを得ない事情を認むれば延期を與ゆる事になるかも知れぬ▲岡崎遠光氏が韓銀無用論を新著『朝鮮の產業及金融政策』に於て主張し獨逸の例を牽いてあるといふが如何にも獨逸は數箇の紙幣發行銀行を有つて金融の調節不統一に苦んで居る併し是を以て直に韓銀を律するのは朝鮮の經濟的位地を顧みないのだ獨逸の昔の制度は當時の必要が然らしめたので今日其弊に苦んで居るのは時勢の進步である此理を以て推究すれば寧ろ倍々韓銀の有要を唱ふべき筈である▲勿論予と雖も絕對に永久に此種銀行の必要を認むるのでは無い謂はゞ時期問題で一日も早く獨逸の如く其弊に苦む時期の到來せん事を希望するのである

●行爲不行爲取締

朝鮮に於ては種々取締を要すべき事項勘からず現に社會一般の狀態は尚ほ甚だ不規律を極むるより行政命令を以て其行爲不行爲を取締り其秩序を保つの必要あり依て其筋にては近々之に關する相當の法令を發布する由

●京城水道所管

目下議會に提出中なる京城水道の買收案可決の上は京畿道廳の管轄に屬し之に對する事業費は既に一般會計に計上せられ地方經費の內に組込まれありといふ

●民籍調査と新年度

半島に於ける民籍調査は嘗て內部に於て一應完結し爾來之を基礎として加除訂正を加へ動靜の狀態を明かにし居るが尚は完全を期する爲め目下臨時に警部巡査を戸々に派遣して實地的調査を開始し居れり而して土地調査に就ては千四百餘萬圓の巨額を投ぜられ居るも人口調査に就ては未だ重きを置かるゝ能はず本年度豫算は僅かに二千餘圓を計上し在るのみ殆んど筆紙墨の用をも辨せざる程なりと云ふ

●京畿道の就學兒童

京畿道廳管內に於ける官立普通學校は現在二十六校にして之に收容せる生徒は約四千人なり外私立普通學校一萬八千ノ書房一万人の概算にして之を同管內の總戸數約廿萬戸に比例する時は十分の一、六に過ぎざるなり斯く就學者の少數なるは大に遺憾とする處なるを以て近く召集の郡守會議に於て各郡の意見を徴し將來の擴張方針を定むる筈なり

●瓦斯電氣引下問題

日韓瓦斯電氣株式會社に對し當地商業會議所が現行瓦斯電氣料金の輕減を迫るべく決議せしは既報の如くにして該決議の結果は在京中の岡崎專務に送達し置けるが飽くまで其目的を貫徹せんには先づ一般各會社の規定料金を調查し具體的に之を交涉するの必要ありとし目下同會議所にては之に關する材料蒐集中なりと云ふ

●明石總長の用務

別項所載明石警務總長東上の用務を聞くに朝鮮駐劄臨時派遣隊は內地各師團より成れるものなるを以て今回の師團長會議に際し其件に就て打合せすべき事ありて東上するものにして別に重大の用件なるにあらずと尚は往復十日間位の豫定なりと

●憲兵隊の會議

京城憲兵隊にては來二十日より一週間を期し京城一二兩分隊、南北兩警察署長、仁川龍山水原開城其他の各憲兵分隊長及び警察署長を招集して會議を開く筈なるが會場は京畿道廳にして府尹郡守會議と同じかるべしと

●警務總長の東上

明石警務總長には寺內總督の招電により松村副官を隨へ來五日午前九時南大門驛發列車にて東上の筈

●法學校學科改正

從來朝鮮人司法官を養成するの目的にて經營しつゝある法學校は來る四月の新學級より法律科の外に政治經濟等の各科を設け更らに隨意科として簿記學等を授け今後は司法官に限らず一般行政官實業會社銀行員等各種の人材を養成する事となるべしと

●官衙執務時間變更

總督府及附屬官廳の執務時間は來る三月十一日より明年四月三十日迄午前九時出勤午後四時退廳と土曜日は午後一時迄となりたり

戸籍居出に就て

中野警務課長談

昨三日發行の仁川朝鮮新聞紙上に戸籍法上の不備と題し半島在住の內地人が戸籍の屆出を所屬市町村役場へ送達するに方り多數の日時を要するより往々戸籍法違反の處罰を受くるものある旨揭載しあるが右は全く事實の取扱を知せざる誤報にして若しも是ありとせば本人自身の不注意に基くものなり元來戸籍法上の屆出は戸籍吏に向つて本人直接の屆出を原則とするも遠く朝鮮に隔在するものは事實不可能の事情あり故に當局者に於ては狹くに此邊の不便を慮かり**內務省に交渉の**結果半島在住者の屆出に限り**最寄**の**警察官署**又は**憲兵分遣所に屆出**で警務總監部を經由するなく直接受理官廳より本人所屬の戸籍吏に送達せしめ更に其**受理日附**を以て**有効のものたらし**むる事に決し居れり故に必ずしも本人の直接屆出を要せざるに尚は斯かる誤解を抱くものあるは大に遺憾とする處なり而して同紙所報の違反者處罰云々の如きは此便宜に浴せざる人なるべし云々

●東拓第二回拂込

東拓會社は事業擴張の資金として來る七八月頃二百五十万圓の第二回の拂込を催告すと

●敍任及辭令（二月二十五日付）

朝鮮總督府慶尚北道參與官從五位 崔廷德
任朝鮮總督府慶尚南道參與官
敍高等官三等
朝鮮總督府慶尚南道參與官
從五位勳五等 申錫麟
任朝鮮總督府慶尚北道參與官
敍高等官三等
朝鮮總督府技師 齋藤音作
京畿道慶尚北道平安南北兩道管內へ出張を命す

●藤田院長と中野課長

總督府醫院長藤田嗣章氏總監部警務課長中野有光氏は滿洲ペスト狀況視察の爲め五日出發の筈なりしが事務上の都合に依り數日間延期せりと

●鈴谷艦仁川入港期

海軍練習艦たる鈴谷艦は練習生を載せ來る九日仁川入港翌十日龍山に於ける陸軍紀念祭に參列する由なり

●恩賜公債利子の支拂

恩賜公債の利息は三月一日より支拂はるべき筈にて韓國銀行は毎日其の支拂を爲し居れるが其の手續は本人自身印鑑を持て韓銀に至るか代人ならば委任狀を携帶すべしと

●滿洲鼠疫患者

二日午後五時五分發奉天防疫本部より左の電報其筋に達せりと

新患管內奉天一（途上發見患者累計二二八）管外奉天一二（內女二）鐵嶺三（內女一）昌圖四累計四、三七五管內外累計四、六〇三

●不良鮮人動靜

浦汐にある排日鮮人等は露國官憲の取締嚴重なる爲め多くは琿春吉林地方を徘徊しつゝある由にて李範允逮捕後不良鮮人の首領と目せられつゝある安昌浩は吉林にある排日鮮人の頭領吳某と氣脈を通じ居る者の如く又李軍は露都に在るが在昌浩に對し故李範晉の葬式に參列せしむべく促し來り過日兩人同地に會合せる形跡ありと

浦鹽方面の防疫施設

任浦鹽大島領事報告

北滿地方のペスト病は今尚猖獗を極むるを以て當市に於ては曩に臨時市會を開催し防疫方法を研究したる末豫防費二萬五千留を支出する事に決し清韓勞働者住所の清潔法を施行しペスト流行地及其の附近より來る前記勞働者の入國を絕て嚴禁する等注意オサオサ怠りなかりし結果幸に今日に至る迄未だ一名の患者をも出さず今其防疫手段として現に施行しつゝあるものは

（一）清韓勞働者の東清鐵道に依り沿海州へ來る者は『ボグランチナヤ』驛に於て五日間之を隔離し衣服所持品金錢等を消毒し健康診斷を爲したる後入國せしむる事

（二）ペスト流行地及其の附近より來る生皮及毛皮、家畜は一切輸入を禁止する事

（三）ペスト流行地と認められたる芝罘港より來る船舶に對し檢疫を施行し五日間の停船を爲す事

（四）東清鐵道線路內を旅行する清國人は途中之が健康診斷を爲す事

（五）ハルビンを經由して當地に向ふ旅客列車の三四等乘客列車は『ボグランチナヤ』驛に於て引返し同驛に於て新に仕立たる列車に搭乘せしむる事

（六）渾春にペスト發生したるを以て露曆一月卅一日付の沿海州軍務知事の命令に依り『バ、ロフスク』より『クラスノエ』村に至る迄の間を軍隊を以て警戒し清韓勞働者をして一切露領に入らしめざる事其他の黃色人種は國境檢疫地點に於て五日間隔離の上入國を許す事

（七）沿海州廳は醫師ウ氏及びヤ氏を咸興及渾春の檢疫地點に出張せしめ尚ほ醫師グラゴリエフ氏をボクランチナヤ驛に派し旅客檢疫の任に當らしむ

（八）沿海州所醫師コンドレエフ及ソーモフ兩氏を浦鹽勤務の防疫事務に從事せしむ

（九）東清鐵道の急行列車及郵便列車には一切清國勞働者を乘車せしめざる事

（十）東清鐵道其他の列車は同鐵道構內にありて旅客を乘車せしむる前之を消毒する事

●東拓の倉庫計劃

東拓會社は來年度即ち四十四年度計劃として約六十萬圓の資金を投じて本社新築の筈なりしも此の際本社新築急施の必要を認めずとなし該資金を以て各樞要の地に數箇の倉庫を新に建設する事に略ぼ決定し本社は單に假建築を爲すのみなりと云ふ

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　二日の分
乘車客　五四七　下車客　五五〇
乘車賃金　一三一〇、〇七

▲南大門驛貨物發着高　二日の分
發送　五三噸　到着　三四九噸
貨物賃金　六一〇、一六

▲龍山驛乘降客　二日の分
乘車客　一七九　下車客　一八四
乘車賃金　一三一、八九

▲龍山驛貨物發着高　二日の分
發送　六二噸　到着　一五二噸
貨物賃金　三九、九九

▲仁川港の出入船舶▼

エンズラヂャー號　四日新嘉坡より
山陽丸　同大阪へ向出港
高砂丸　同大沽へ向出港

▲京城手形交換高▼

三月三日　金高　七九六、四〇七　枚數　四五六

▲治外法權▼

昨本紙記載鈴木司稅局長の談に因れば昨年中に於ける移出米五分稅の收入はタッタ三十二萬五千圓だ三十二萬五千圓、如何に半島の世帶が小さくとも、之しきの收入減額が大問題でない事は知れ切つた事だ而かも此大問題でない問題が今日迄埒が明かずに居たのは財政當局者が餘りにシミッタレだからだ▲形勢一變、此頃となつては頑迷な當局者も大分考が違つて來た、其證據には鈴木自身も五分稅撤廢の敢て至難事にあらざるべきを云ふ樣になつた▲本月發行の雜誌新公論に守錢奴號と銘打つたのは奇拔だ、ソコで記者は奇拔な號名に釣られ、チヨット內容を覗いた▲澁澤、三宅、尾崎其他諸大家の拜金論、ナル程ゴ尤と一應は首肯かれた併しよく考へて見ると其所論のあまりに不實際的なるに氣づいて仕舞つた▲過日も書いた如く我邦に唯物論が這入つて來たのは御維新後であつて、世人の云ふ拜金宗とはツマり右唯物論の別名であるのだ▲日本國民が拜金宗を信仰して玆に四十年、而して其間に生れたのが現在の國富だ、國富、ナル程一寸聞けば大層な樣だが實を云へばロスチャイルド一家の持分にも當らぬのであるのだ、之を以て見ると我同胞に向かつて拜金鼓吹もまだ早い、早い▲守錢奴號所載澁澤男の『算盤と論語の一致』の議論は有名なものだ、右に就て面白い話は例の桃山遊廓經營者畑彌右衛門が資金調達の爲め一昨年の冬某の紹介によりて澁澤男を王子の別莊に訪ふた▲男は實體氣なる畑の態度を見て大に惚れ込み、彼に向かつて盛んに『算盤と論語の一致』を說いた、サル者の畑は男の說法に向かつてウマク調子を合せた男は彌右衛門を信用して仕舞つた▲頭取から鶴の一聲が出て第一銀行は畑に十萬圓を貸すことに決した、此時遲く、彼の時早や、一銀京城支店から畑の信用調查書が届いたソコで十萬圓はオヂャンになつた

●咸北の植林計劃　朝鮮に於ける官林の一部分を借用し之れを植林し一附近一帶の山野を植林し以て模範林と…く所に設置する方針にて何れも大規模
る山野の荒廢に鑑み植林思想を涵養せ…は以て水源の利益を謀り他は地方涵養せんとて既に計劃せりと尚は同道廳…のものなりと云ふ

▲神戸客　出來不申
▲電線引　五九、一〇〇
▲京阪同　六七、五〇〇
▲東京同　一六、〇〇〇
▲株新同　一七、〇〇〇
▲大阪同　一三五、二〇〇〇

四月止六十八錢▲五月止八十八錢▲後場三月寄十五圓六十四錢▲止六十五錢▲五月寄八…
同上▲四月寄十一圓四十五錢▲止同上▲最高同上▲最低六十錢▲止六十四錢…

…しが咸鏡北道城…數名あり由なるが同地府廳に…も鎭に茲に見る所あり本年中に同地方館として…の模範林及森林を設置すべく…位置は城津…等の故に…可く人目を惹…

特別廣告

無門關提唱 田中道圓師
自今毎日曜午前十時開會 傍聽隨意
南山町本願寺別院內 不二會 幹事

夫人の藪蛇

▽大桝屋銀鳥の發憤

…惚れねばならぬとの…勝となつた以上は先…と思ふが人情なりき…に腹が立つなり夫…惚れた亭主とあつて…無理でなし然りながら夫れも過ぎては猶ほ及ばざるの悔あるべし當地南山町の何丁目かに住む**時岡某は東拓會社**の社員なるが其の妻君の**みされ子**(二三)と云ふは未だ時岡君が東京にて大藏省屬勤務中下宿し居たる某館の…に下宿して某女學校に通學し居たりければ從つて朝夕廊架で擦れ違ひ又は洗面所で顏を合せ便所で入れ違ふことの度重なれば孰れよりとはなく『お早う』『今日は』の挨拶から馴れては串戯の一つも言ふ樣になつた後は定まりの如く近きは男女の情と云ふことになつたりける後はみされ子の熱度は極點に達し遂には**中途退學**するの破目に陷りたる時しも時岡君は東拓に雇聘せらるゝ事となりしが故ありて伴はずみされ孃は橫濱某病院の看護婦となり居りしに昨年の春突然時岡君の下宿に押し掛け來りたれば前約もあるので同棲する事となりたり然るに之れより前時岡君獨寢の閨淋しきに堪へで新町遊廓をあれかこれかと見立て回つた眼に强く映つたのは彼の**大桝屋**の**銀鳥**何うも夫れが未だ自分が**學生時代の知合**ひとなり一二度ならず文の取り遣りしたことある云ふに似たとは恐らく絲瓜を二つに割つた如なので懷かしさに堪へず登樓したれ茶水女學校生なりし渡邊やす(二三)と云ふ處夫れが實物の渡邊やすの銀鳥なりしにぞ相惚れの交情とこそはなつて居たのでみされ子が來て後も其の眼を忍んでは通ふて居たこと程なく顯はれたのでみされ子はクワッとなり銀鳥相手に手紙やら電話やらで**男泥棒**の**スベタ**女郎のと惡口の限りを盡すも一方だつて女郎でも仕樣と云ふ程の心掛けの女なれば何條敗けて居るべき「**取られた貴女が間拔けなノ**」と擺歎を下げてケロリとして居たのでみされ子自ら大桝屋に銀鳥を訪ふての膝詰談判も美事に敗れ却つて先取特權を承認せねばならぬ破目に陷りたのみか奥さん姿の稼業は營業税を納めて致して居るのです**家庭の平和攪亂**や**青年**を**墮落**さしても夫れは**納めた税**の**中に籠**めてあるのですからね、餘り恐圖〱仰するな**營業防害**として其の筋の手に引き渡し舛よさを呑み込んで引き退つたが一方銀鳥は今は惚れた腫れたは別として意地から時岡さんと夫婦になつて見せると本年九月の年明けを樂しみにして居る由なり

總督府醫院の賄改良

▲一品賓の實行

醫院へは何れの病院にても多少の批難を免かれず隨て當局者に於ても其改善に腐心しつゝあるは豫て聞く處なるが總督府醫院に於ては改良の一歩として二月一日入院料と賄料とを區別するに當り病症により食膳を要せざる者をして多數の食費を支辨せしむる弊害を除かん爲め一品賓の計畫を立て其楷梯として患者の希望により各等級中何れの食物にても供饌せしむること は嚴に本紙所載の如し而かも一ケ月を出ずして前記の計畫を實現せるを喜ぶものなり即ち一品賓は醫官の命ずる範圍に於て各其**嗜好**に**應**じ廉價を以て**調進**せしむるものにて治療上牛乳療法を要する患者の如きは入院料のみにて全く食費を要せず粥又粥汁をのみ用ゐる患者は單に其價を支拂へば足るが如く已れの好まざる食品の代價を迄支拂ふ如き弊害は全く除き得たるなり如此きは病院賄として未だ其類例多からざる長足の進歩と云ふて可なり今其一二の價格を聞くに(一皿宛)〇スープ十二錢〇カツレツ十二錢〇ヲムレツ十二錢〇ポークチャプ十二錢〇チキンロース十五錢〇カツレツ十五錢〇ビステキ十五錢〇ビフロース十五錢〇刺身甲十錢乙八錢〇鹽燒類十錢〇照燒類十錢〇スープ一合十錢〇飯三錢〇パン(バタ共)七錢等の如く**市價**に**比**し幾何か**廉**にして患者の便利を謀るとの事なり向一品調理を望まざる向には五十錢以下にて見計ひ和洋食を問はず調理する由なれば患者及附添者の便利蓋し鮮少か

▲受附の改良 官立病院と云へば守衞受附等の批難あるは大勢免かれざる處にして殊に受附に於て其然るを見る要するに注意周到又は**懇切**と云ふことは**女性**にあらざれば得て望むべきに非らず醫院は此等の點に就て適當なる女性を求められつゝありし由にて今回愈々相當の人を得て之れを實行することゝせる本人は熊本尚絅高等女學校の出身にて小學教員及幼稚園保姆等に從事せし人なりと其事務に慣れざる間は直ちに其効果を云々すべきにあらざれども多少の日子を經過し其事務に熟練せば醫院の本旨を現實し得べし

●銀貨僞造者捕はる

仁川龍洞在住の金銀細工業洪漢周(五三)は明治四十三年五月中旬頃より全羅南道海南郡一面畓校里居住李審用方に於て木浦南橋居住の趙鼎泰なる者等と共謀し二十錢銀貨の僞造に着手したるが完全なるもの出來ざるより同六月下旬中止して歸仁し其後本年一月中旬より全羅南道務安郡一老面靑湖里金奎元に謀り銀貨僞造の企畫をなし鑄型一個を給與なし置き一先立去り二月中再び着手する約束をなし居所の捜跡を晦し居たるが海南警察署に於ては已に李趙の二人を逮捕し嚴重取調べたる處洪と共謀なる事を確めたるより同署より特に仁川警察に洪逮捕方依賴せしより仁川署の威刑事は嚴探の結果去月廿八日京城南部銅峴洞信行商會申泰和方に潜伏し居るを發見し逮捕したりと云ふ

安辯護士暗殺さる

▽物騷なる京城

北部碧洞(水門洞)四十四統五戶住安肯洙(三二)と云ふは平壤の生れなるが夙く日本に渡り東京法政大學に入り卒業後歸來して、**判事**を拜命し昨年八月迄**群山區裁判所**に在りしが辭職して京城に來り北部松峴に事務所を設置し當時豫て群山にて馴染みたる**妓生**朴召史(二六)が**其旦那**なる全羅南道群山住前議官李某を**嫌**ひて安を慕ふて**逃來**りしより**妾**とし同棲し職業の方も繁昌すより今日迄安樂に其の日を送り居たるのなるが去る二日は其**誕生日**に相當せしことゝて終日客を招きて祝宴を開き日暮客の退散するや妾の朴氏と差向ひにて**夕食中**(午後六時半頃)見知らぬ一韓人が某家の**下男**某を呼び出し安の在宅せるを確めたる上同人の胸部を蹴て**人事不省**に陷らしめ、〇〇の周布したる他の**韓人**三名を加へて**四名**にて食事中の席に闖入し一人は朴召史を取押へ三人は**安を庭前に引き摺り出**し飛棄敵せずと見て爲すが儘に委せた同人を亂打し內一人は携へ來りし仕込杖を拔き放ちて安の**右腹部**を**刺し貫**きたるにぞ何かは以て堪るべき盤さへ得立てず**絶命**したるを見濟し悠々として折柄の宵闇に紛れて何處ともなく逃げ失せたる此の意外の椿事を取り放されたる妻朴氏が直に水門洞警察分署にかくと訴へ出でたるにぞ時を移さず直ちに本署及憲兵隊に通報し全市に**非常線**を張りて**犯人搜索**に全力を注ぎたるも三日午前中には逮捕を見るに至らざりし因に警務總監部よりは友角保安課長及び鈴木警部村田第二分隊長大橋第一分隊長等は水門洞分署に出張し憲兵、巡査を指揮し徹宵したり而して其の原因に就きては不明なるも妾朴氏の戀仇か或は訴訟に關係してなるべしと傳へらる

●跡を絶たぬ横領沙汰

富山縣人福井錄三郎(三四)は昨年十月より本町一丁目裏通り堀尾雜貨店に店員として雇れ同時に京元線事務國里出張所詰になり居りしが福井は夫れより以前大和町一丁目榮月樓酌婦みされ事南野みね(二二)と深しくなり居り事こて國里出張所にては金錢の自由に取扱ひを寄貨として盛んにみされの處に通ひ浪費する事甚だしく其筋の注意人物となりぬ然るにみされに西小門通り居住の山内某と云ふ野呂魔男が自ら惚れて福井と競爭の必要上福井は警察に引致されしに付當分歸らぬと詐り落籍を承諾せしめ一月二十五六日頃百七十…

三面都々逸　浮世亭善坊

雛の樣だと云われた事も昔しあつたと語る婿
浮名流して狂つた事も今じや夢だと話す翁
孃し孫めが今日雛祭り嫗が三味ひく翁踊る
和合併合聯合なして一家春めく昨日今日

相場電報(支店着電)
▲大阪株式(四月限)
一節 前場 後場
▲大阪紡績同 ▲紡績同 ▲電燈同
六七、九〇 六七、八〇 一〇、五〇 一一、七〇
延 前場
●一日前場 ▲大阪期米 三月止十五圓六十一錢▲
●二日後場 ▲仁川米豆取引 三月寄十一圓四十錢▲止 四月寄七十錢▲五月寄八十六錢 三月寄十五圓六十四錢▲
一圓五十錢▲最高五十錢▲止四十錢▲最高七十八錢▲十八錢

●京城浪人君の拐者仁川光好東鄕生)▲の非行云々は沒とす(係)

●姜基東審問終了

過日來京城第一憲兵分隊に於て龍口軍曹主任となり審問中なりし賊魁姜基東の審問も此の程漸く終了したるを以て來る十日頃龍山軍司令部に移送の上同部に於て軍法會議に附すべしと云ふ

●仁川疑獄と辯護士

目下豫審中の仁川疑獄事件の辯護は岡田、辰市の兩辯護士にて引受けたりと

●近着新刊雜誌 文藝俱樂部、少女界、女子文壇、英語初歩、新公論、婦人世界、小年界、婦女界、中學世界、實業世界(三月二日町田文林堂報)

●淨土宗靑年會講演 明治町一丁目同會に於ては四日午前七時より廿六回講演會開催久家師の『日本佛教の特色』其他會員の信仰談ある由

●仁川捕鼠買上 二日二百五十四頭にして金七圓六十二錢なり

●演藝だより

●壽座 大好評を博したる立志團四日の藝題は親と親全入場にして配役は、石山義則(村山)同義夫(香山)妹花子(淺井)同交(花島)同下女しん(淺井)石山の妻後に香川の妻貞子(郡)香川定夫(北村)陸軍少尉後に少佐渡邊彰(稻葉)同妻咲子(藤島)同光(五味)咲子父弘澤(一二三)神官榊原 井上)かしや天助(上田)

●京城座 大好況の兄弟義團四日の藝題は御家騷動裁判事件補時雨全十三段返しにて重なる配役は柳井辯護士(岩村)車夫辰造(花房)遠山春子(堀江)同鐵夫(谷)同市藏(松澤)同女中しげ(塚本)川瀨順一(吉井)同靜代(東)遊人銀次(松澤)山崎武夫、裁判長川村、小泉)陪席判事橋(櫻)布施檢事(寺島)武夫母いく(江見)

●浪花館 休演中の同館は愈々今回大阪親友派浪花節吉田春園一行乘込み入日より花々敷く開演の由

仁川商店めぐり

新町一丁目 津田兄弟屋

店主は津田利吉氏三東京の人明治卅二年釜山に航し幸町に店舖を設け精心勉勵せしかば店運日增盛なるが時の事務の趣旨に鑑み明治三十八年に仁川前記の場所に開店以來日尚淺きに仁川の信用を博し市內は無論京畿道を通じ日々の輸出に店員一般忙殺され居る狀態也今商品の名を擧ぐれば家具漆器唐木製品、諸金物、荒物一式、毛皮類、其他日用雜貨道具類に於て一般輸入は產地と特約輸入をなして廉價なれば購求の御方には至極徳用なり時に氏は趣味として義太夫を解し現に仁川俱樂部會員たり

●正誤 當社新聞二月廿五日の平民文壇欄に仁川燈臺局の滲入云々の記事及本月一日の雜報欄に燈臺看守の醜聞と題し揭載せられたる記事は何れも事實相違に付御取消相成度此段申入候也
明治四十四年三月二日 滲入愛助印 櫛崎辰之助印
京城新報社御中

▲平民文壇▼

▲二日の夜太平町の太平湯で斯う云ふ噂をして居た人があつた▲料理店永樂亭の主人德さん京城新報紙上に散々浮名を唄はれた彼の度支部の電話係たりし萬何某の娘が思ひ切れず妻君の眼を忍んで北米倉町舞代の附近に圍ふて居る▲其の娘ツ子は德さんの胤と云ふ奴を昨年から宿して居たと見へて先日芽出度產の紐を解いた▲が斯くと知つた妻君思ひの外に芽出度がらぬと云ふのは自分に子がないからでもあるが幾に僻んで目下盛んに悶着中だ▲女將も大人氣ないが德さんの箸もチトマメ過ぎたからだよと(風聞子)▲本町五丁目の三一館ど米倉町一心堂とは久しい間詰らぬ事を新聞に廣告して爭ふて居る孰れが是か非かは別問題として三一館の言へる如く易鑑に無經驗な一心堂を門戶を張る迄に導いたとならば三一館は師匠だ如何なる事があつたかは別として師匠として弟子を罵痛するのは自分の不德を表白するものだ▲一心堂とても又一日にても師事せし人に逆ふのは不可▲抑も觀相淡竹の道は心清く氣澄まなければ駄目だモウ兩方とも爭ひを止め玉へ▲序に云ふが何に限らず次第で巧手になるものだから弟子必ずしも何時までも師匠に劣つて居るとは言へん併し巧手でも弟子は弟子だ(京●●●●●●)▲農商工部の○○孃の高島嘉右衞門)▲●●●●局の井出さん商人だと云ふて餘り馬鹿にすると秘密な事を發表しますよ(エ●●●●一、エー生)▲當市に役分一二時間程宛漢籍を教へて下さる先生か又は學校がありませんでしようか若し御存じの方あらば是非お知らせを願ひます(●●●●永樂町有學生)▲依賴生に答ふ慢性淋病には淋球が一番良く利きます(實驗●)

今日の運勢

●三月四日(舊二月四日)七赤癸酉大安 危 ●一白 婚儀中裁談合共同組合の事効無し他の行事進んで吉負傷衞生注意すべし△一黑 保證受印投資融通其他快欣の日大凡吉△二碧 酒色の害を慎しみ建築及起業の外諸事手控への事△四綠 窮厄の日路事諸般の事盜難遺失防ぐべし新事旅行、婚談見合せの事△五黃 貸借金談保證手形發行事書の事間違生せんとす他は平靜△六白 精勤移轉分離分業紛爭解決に吉總じて中運の日大凡支障無し△七赤 訴訟中裁訂約協商商議捌り難し起業起工開店鼓賦命名旅行婚談移轉に凶△八白 損害出捐多き日なり他の行事進んで吉△九紫 業務上見込違ひ不利多し總じて厄運の日新事旅行婚談相談轄宅凶(本町五丁目三一館判斷)





